

## こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和7年11月分)

番号	ご意見	市の考え
1	<p>誰でも保育園の制度が使いづらいです。預けられるのが数時間の上に給食までないのであれば何時に預けられるのか分かりません。午後からだど昼寝の時間帯になってしまうし、上限が少なすぎて子どもが保育園に慣れる間もないと思います。</p> <p>それなら一時保育の制度を充実させてほしいです。津市の中心部に在住ですが、周辺の一時保育可能となっている保育園全てに電話しましたが、受け入れ可能なのが2つのみ。ひとつは面談して、初回の慣らしが終わって、ようやく預けられた初日のお迎えで職員さんが休まれるとのことでそれ以降預けられませんでした。</p> <p>一度預けたところも夏以降断られました。</p> <p>相談した保育園もどれだけ予約が取れないかしっかり説明を受けた上でようやく預けられるところまで辿り着けました。</p> <p>先生方のご負担も考えると、一時保育に予算をかけて欲しいです。</p>	<p>「こども誰でも通園制度」は、0歳6ヶ月から満3歳未満の保育所・認定こども園等に通っていないお子様を対象に、国で定められた一月あたり10時間という枠の中で、就労要件などに関わらず保育所等を利用することができる新たな制度であり、本市では今年度10月より香良洲浜っ子幼児園において試行的に実施しています。香良洲浜っ子幼児園では、専用の保育室を設け、専任の保育士を配置して受け入れ体制を整えていますが、食事の提供にあたっては、アレルギー食の調理、提供体制が整わないことから、給食、おやつ提供、お弁当の持参を受け入れておりません。令和8年度からも施設で調理した給食を提供しない方針は変わりませんが、ご自宅からのお弁当やおやつのご持参は受け入れるよう検討中です。</p> <p>一方、一時預かり事業は、保育所等の利用可能人数に余裕がある場合や保育士を配置していなければ受け入れができませんので、利用される日や施設により、申込みをされても希望の日に利用できないことがあります。</p> <p>今後もこども誰でも通園制度や一時預かり事業などの拡充に努め、こども子育て支援のための更なるサービス向上に取り組んでいきます。</p>
2	<p>津市の図書館が本当に使いづらいです。小さい子がいると雨が降った時、駐車場からのアクセスが悪すぎて2台しかない有線駐車場は全く足りませんが、車椅子の方はどうしているのだろうと思います。ベビーカーは2階の歩道から図書館に行けません。</p> <p>図書館のイベントも読み聞かせ以外に赤ちゃんが参加できたり、乳幼児や小学生と一緒に過ごせる、もしくは託児ができるようなイベントもないのが残念です。図書館がもっと活性化されるといいなあと思います。</p>	<p>駐車場については、現在改修等の予定はございませんが、ご意見については今後の参考とさせていただきます。</p> <p>イベントについては、読み聞かせのほか、「ストーリーテリング講習会」や「子育て絵本講座」を毎年開催しており、託児もご利用いただけます。また、夏休みや冬休みなどに「話せる図書館」として、普段は静かにお過ごしいただく図書館ですが、当日はおしゃべりするなど自由に図書館を使っていたりする機会や、じゃんけん大会なども開催していますので、ぜひご参加ください。</p> <p>今後も、幅広い年代の方にご参加いただける企画や、託児をご利用いただける企画を検討していきます。</p>

## こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和7年11月分)

番号	ご意見	市の考え
3	<p>室内で子どもが遊べる場所が増えて来てありがたい。                      予防接種の助成金が増えていてありがたい。                      子連れで外食しやすい場所(授乳室、おむつ交換台、ベビーチェア、ベビーカー)が増えるとありがたい。                      車の中で赤ちゃんが寝てしまうことが多く買い物も行きにくくなるので、ドライブスルー方式のお店が増えるとありがたい。</p>	<p>本市では、こども・子育て政策に係る事業の推進に必要な財源の確保を目的として津市こども基金を創設し、こども安心サポート任意予防接種費助成事業のように、国の支援が届かない事業で、かつ、子育てに関わる世帯が直接その恩恵を受けることができる事業に活用しています。令和8年4月からは、子ども医療費の助成対象を高校生年代まで拡大し、医療費を無料化します。今後も津市こども基金を活用しながら、本市独自のこども・子育て政策を実施していきます。</p> <p>また、三重県では、子育て家庭を社会全体で応援するため、子育て世帯を対象に、協賛店で提示すると割引やサービスなどの特典が受けられる「子育て家庭応援クーポン」を発行しており、令和6年度からは「子育て家庭応援クーポンアプリ」の導入により、協賛店の検索等も可能となっています。おむつ替えスペースや授乳スペースなどのベビーサポートがある企業や店舗の検索も可能となっていますので、ぜひご活用ください。</p> <p>【参考】                      三重県ホームページ「三重県 少子化対策総合ウェブサイト みえ 子どもスマイルネット」<a href="https://www.shoshika.pref.mie.lg.jp/">https://www.shoshika.pref.mie.lg.jp/</a></p>

## こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和7年11月分)

番号	ご意見	市の考え
4	<p>津市久居で子育てをしています。久居は他の市に比べて大きい整備された公園が少ないです。支援センターで出会ういろんな人と話していても幼児から小学生くらいまでが遊べる公園が少ないからどこで遊べばいいのか分からないと言っている人にたくさん会います。松阪のベルファームや中勢グリーンパークまで行かなくては行けませんが、正直遠くて1ヶ月に数回くらいしか行けません。もっと気軽に行ける公園があればありがたいです。鈴鹿は大型遊具がある公園が多数あります。久居中央スポーツ公園に、プールを壊して大型公園を作るそうですが、幼児～小学生が遊べる大型遊具はありますか？</p> <p>子育て世帯は食費やファミリーカー、習い事などがどんどん上がり、物価高で厳しいです。老朽化された市民プールを壊すのはなぜでしょうか。もう香良洲のプールくらいしか行けません。久居にも子どもも泳げる市民プールを作ったり、補修してきれいにして使えるようにしてもらえるとありがたいです。子どもがを動かして遊べるところがどんどん少なくなっています。</p> <p>物価高対策は津市は子育て世帯に対してもきちんと対策してほしいです。</p> <p>松阪市などはPayPayで支払うと10%割引などたまにやっています。そういうのもいいと思います。</p>	<p>公園について、本市の都市公園は令和7年4月現在で552か所あるほか、これまでまちづくりのなかで様々なこどもの遊べる場を各地域に設けており、それらの既存の「遊べる場」をわかりやすく情報発信することを検討しています。</p> <p>また、久居中央スポーツ公園内プールについては、施設老朽化のためこれまで何度も修繕を行いながら運営をしてまいりましたが、新たに大規模な漏水が発生し、漏水箇所の調査や修繕に多額の費用が必要となるため、これ以上プールとして存続させることは断念せざるを得ないという結論に達しました。プール廃止後の久居中央スポーツ公園については、津市こどもまんなか社会実現会議の中の「久居こどもの遊び場づくり事業推進会議」において、「地域全体で、こどもの豊かな成長を育む遊び場を共につくる」ことを理念に掲げ、こども、若者・子育て当事者からいただいたたくさんの意見の集約を行い、こどもの育ちに必要な遊び場をつくるために検討を重ねているところです。遊び場をどのような形にしていくかは、事業推進会議において、皆さんの意見を反映させた整備イメージをまとめ、令和7年度に作成する基本設計に反映させていきます。現在の進捗、整備イメージ、基本設計については、津市ホームページでご確認ください。</p> <p>子育て世帯に対しての物価高騰対策については、給食食材の高騰が給食の質の低下や給食費の値上げにつながるための支援や市内の保育施設や子育て支援センター等に対する光熱費高騰分の支援等を行っています。また、国の「物価高対応子育て応援給付金」(0歳から高校3年生までの児童1人あたり2万円)については、2月18日に申請不要の方に振り込みました。申請が必要な方にも順次支給を行います。</p> <p>現在、電子決済システムによる支払いに対し、物価高騰対策として割引を行う取り組みは実施しておりませんが、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民や事業者を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、国の『物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金』を活用し、すべての市民を対象にプレミアム率100%の紙商品券を販売します。</p> <p>【参考】津市ホームページ 「物価高対応子育て応援手当」 <a href="https://www.info.city.tsu.mie.jp/kosodateouen/shinseitodokede/1010630.html">https://www.info.city.tsu.mie.jp/kosodateouen/shinseitodokede/1010630.html</a></p>